

自 己 評 価 表

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校
学校番号 (38-1)

教育方針	<p>(基本方針) 人格の完成を目指して、思いやりの心・向上する心・健やかな心を養い、21世紀をたくましく生きぬく、自主的精神に充ちた、心身ともに健康な生徒の育成に努める。</p> <p>(指導目標) 自己教育力の向上を目指して、基礎・基本の徹底を図り、生徒一人一人の自己実現を促す。</p>	重点目標	<p>(本年度の重点努力目標) 地域に根差した協働活動による自己改革力の育成 ～確かな歩みで着実な成果へ～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域に根ざした学校、地域に貢献できる学校を目指す。 2 個に応じた学習指導を徹底し、進路実現を図る。 3 自ら考え、協働しながら行動できる生徒の育成に取り組む。 4 教育活動を通して、健全な心と体を育てる。 5 清潔で美しい学校環境づくりに努める。 6 教育活動の公開と情報発信に積極的に取り組む。
-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学校運営等	地域に根差した協働活動による自己改革力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒・教職員・保護者・地域住民が一体となった学校(人)づくりを進める。 ・生徒の地域へのボランティア活動参加100% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:60%以上 E:60%未満 ・笑顔で元気な挨拶100% A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:70%以上 E:70%未満 ・毎日教職員から声をかけられる生徒100% A:100% B:95%以上 C:90%以上 D:85%以上 E:85%未満 ・三瓶分校へ入学して良かった生徒、入学させて良かった保護者100% A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:70%以上 E:70%未満 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒全員がボランティア活動に参加できている。 ・生徒全員が気持ちの良い挨拶ができています。 ・93%の生徒が教員から毎日声をかけられている。 ・生徒も保護者も全員が三瓶分校に入学してよかったと回答している。 	/
	学校行事への保護者の参加	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事への保護者の参加率を高める。 ・保護者の学校行事への参加・協力100% A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:60%以上 E:60%未満 ・PTA総会出席60%以上 A:60%以上 B:50%以上 C:40%以上 D:30%以上 E:30%未満 ○地域との協働に努める。 ・生徒・教職員の地域行事への積極的な参加 ・市や町、公営塾との連携強化による三瓶分校の魅力化推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・85%の保護者に学校行事へ参加・協力をしていただいた。 ・保護者のPTA総会への出席率は57%であった。 ・86%の生徒が地域行事に参加しており、教職員も5段階評価で4.1という結果となっており、積極的に参加できている。 ・「市や町、公営塾と連携を取り、三瓶分校の魅力化が図られている」の評価の平均は保護者、教職員とも3.9であった(5段階評価)。 	/
	時代に応じた教育活動(業務改善)	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的に本校の情報を発信する。 ・HPをリアルタイムで更新する。 ・メディアを通しての積極的な魅力発信 ○教職員の多忙化を改善する。 ・時間外勤務の短縮 A:1か月あたり45時間以内 B:60時間以内 C:70時間以内 D:80時間以内 E:80時間超え 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、インスタグラムの更新、メディアの活用はおおむねできている。 ・「教職員の多忙化が改善されている」の評価の平均は3.9であった。(5段階評価) ・リラックスデイをほぼ月1回設け、定時退勤を推奨しており、また、時間外勤務は1か月あたり45時間以内となっている。 	/

※ 評価は5段階 (A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった) とする。

自 己 評 価 表

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校
学校番号 (38-1)

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	個に応じた学習指導 -確かな学力の定着と向上-	○ICT機器の活用など、生徒の学習意欲と理解度を向上させる指導法の研究に取り組む。 ・生徒の授業満足度について A:100～90% B:89～70% C:69～50% D:49～30% E:30%未満	B	・授業アンケートで昨年度の第3学年と比較して、「授業の内容が理解できている」の評価が4.31ポイントで0.07減少したが、「授業における積極性」の評価は4.31ポイントで0.06増加した。	
		○生徒自ら学ぶ意欲を育てる。 ・家庭学習時間毎日2時間以上 ・適切な課題の提供と確実に達成させるための指導の徹底 ・生徒個々の学力と進路希望に応じた個別指導の充実	C	・学習時間調査では、全体では昨年度より1学期末・2学期末ともに70分程度減少しており、授業での積極性が家庭学習にはつながっていない。	
		○アクティブラーニングを取り入れた授業の研究と実践を行う。 ・校外研修や他校視察を実施 ・ICTを活用した授業改善の実施	A	・各教員が積極的に他校の学校訪問等に参加し、授業研究・自己研鑽に努めている。	
生徒指導・特別活動	三瓶スピリットの育成と向上(思いやりの心、向上する心、健やかな心)	○生徒自身による自己教育力を育む。 ・身だしなみ集会に主体的に取り組む。	A	・身だしなみ集会で主体的に取り組む姿勢を徹底することに努め、概ね自分たちで身だしなみを整えることに取り組み、目標を達成できた。	
	特別活動(部活動)の活性化	○生徒自身による自主的な学校行事、生徒会行事を推進する。 ・一人一役運動の推進と徹底 ・部活動加入100% ・各種大会・発表会等への参加	A	・最後の1年を有意義で思い出あるものとなるよう、行事の内容を工夫して、他校にない運営をすることができた。 ・部活動では、3年のみの活動の中で、工夫して積極的な活動ができた。	
	安全・衛生指導の徹底	○安全指導の徹底を図る。 ・月1回、教職員による街頭指導を実施する。 ・手洗いや手指消毒の習慣化を図る。	A	・日々の予防活動の啓発を実施して、大きな感染症のまん延も無く安全指導ができた。	
	美しい学校環境づくり	○学校生活を通して、環境美化に対する意識を高める。 ・清掃活動以外の時間で、1日1回、学校美化に取り組む。 A:80% B:70%以上 C:60%以上 D:50%以上 E:50%未満	B	・生徒は、限られた時間の中で清掃活動に取り組んでくれたが、清掃時間以外の学校生活における美化活動の啓発が足りなかった。	

※ 評価は5段階 (A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった) とする。

自 己 評 価 表

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校
学校番号 (38-1)

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
進路指導	個に応じた進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ○全教職員・保護者が一体となって進路指導を進め、進路を実現する力を養う。 ・志望校合格100%・就職内定100% A:100% B:90%以上 C:80%以上 D:70%以上 E:70%未満 ・スタディサプリの積極的活用 ・在学中、各種検定一人一検定以上合格 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況に応じた進路指導を行い、志望校合格100%・就職希望者内定100%を達成した。 ・スタディサプリアでは、個々の学習状況に合わせた課題を提示する機会が十分ではなく、活用状況が二極化した。 ・各種検定一検定以上の合格71%で例年と変わらなかった。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の進路意識向上のため適切な進路情報の提供や啓発を行う。 ・進路に関する三者面談の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の進路希望を理解し、オープンキャンパス情報等を適宜提供した。 	
	キャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○職業指導や就業体験活動の充実を図り、望ましい職業観・勤労観を養う。 ・応募前職場見学・オープンキャンパスへの参加の促進 ・仕事体験学習やキャリア教育講演会等の実施 ・ハローワークとの連携強化 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・就職希望者は企業説明会や応募前職場見学、進学希望者は、オープンキャンパスに参加し、情報を吟味して受験先を決定することができた。 ・卒業生による進路講話を行った。 	
人権教育	人権学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○人権・同和教育HR活動の年3回実施や人権講演会を通して、人権意識の高揚を図る。 ○地域に根差した人権学習の充実を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・宇和特別支援学校との交流会や訪問研修などを行うことができた。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ○人権だよりを毎学期発行し、人権委員会を中心とした生徒主体の啓発活動を充実させる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとに人権に関する取り組みの啓発を行うことができ、生徒が主体となって人権・同和教育ホームルームを進めることができた。 	
	情報モラル教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○授業やホームルーム活動を通して、携帯電話やネットの適切な利用法を理解させ、他者の人権を尊重する態度を育てる。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の活用が各授業であり、適切な運用ができていた。 	

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

自 己 評 価 表

愛媛県立宇和高等学校三瓶分校
学校番号 (38-1)

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
現職教育	研修の充実	○校内外の研修への参加を奨励し、授業力・教育実践力の充実を図る。5研修以上の参加を目指す。	B	・1研修以上参加した教職員が多数であり、5研修以上は25%、10回以上研修に参加した教職員もおり、意欲的であった。	
		○公開授業で「授業の見どころ」を設定して研究授業としての役割を持たせ、 <u>授業の改善</u> を図る。	C	・「公開授業が授業改善の一助になっている」の評価平均は3.9であり、例年と変わらなかった。	
保健・安全管理	保健活動の充実	○月1回、生徒の健康課題に沿った「保健だより」を発行し、保健指導の資料として活用する。	B	・月に1回生徒の健康課題に合った「保健だより」の内容を掲載し配布した。特に重要な部分は、SHR等で担任が呼びかけ、保健指導資料として活用した。	
		○生徒保健委員会活動を充実させるため、健康に関する情報発信を校内放送等で行い、意識の向上に努める。	B	・生徒保健委員会活動は、健康に関する掲示物の作成、文化祭展示、日常の感染症予防活動等、月に1回以上行い、健康意識の向上に努めた。	
	安全管理の徹底	○月1回の安全点検を実施し、安全管理の徹底を図る。	B	・月1回の安全点検で、異常箇所は早期に修繕した。事件、事故、災害時等の自分の役割の把握を含めた評価平均は4.1で、0.1ポイント増加した。	
事務	教育行政職員としての適切な業務の遂行	○分校化により本校と予算が一本になったため、本校と連携して予算を有効に活用する。	B	・コピー用紙の購入や印刷物の製本を本校・分校まとめて行うことで、それぞれに行うより経費削減となり、予算を有効活用することができた。	
	環境整備と安全管理	○校内の修繕箇所の早期発見、早期対応を図る。	B	・安全点検や職員間の情報共有により修繕箇所を把握することに努めた。急を要するもの、簡易なものはおおむね対応できた。	
		○衛生的で美しい学校環境づくりに努める。	B	・樹木剪定及び除草作業が必要な時期に適切に実施できた。	

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。